

成城美学美術史学会 第 20 回例会

2025 年 9 月 16 日（火） 対面と Zoom 併用のハイフレックス方式

対面会場：311 教室

【修士論文構想検討】

12:30～13:10 小櫃秀仁「「新南画」成立過程の検討—批評家・美術史家の視点から—」

13:10～13:50 平岡秋彦「慶派仏師の写実性について—東大寺南大門金剛力士立像を中心に—」

13:50～14:30 中嶋りり香「『フローラの神殿』の「バラ各種」に関する考察——宗教、政治、自然、
分類学の画家としての R・J・ソーントン——」

～10 分休憩～

14:40～15:20 中尾はる「ロベール・ドロローネー作《パリ市 女性と塔》(1925 年)において表現されて
いるもの—1912 年《パリ市》及び「エッフェル塔」シリーズとの比較からわかること—」

15:20～16:00 中澤唯「クロード・モネの外的要因と、作品への影響 ～オランジュリー美術館の連作
《睡蓮》を中心に～ 」

16:00～16:40 阿部帆夏「19 世紀前半までの西洋風景画における雨の表現 —イギリスロマン主義を中心に
—」

～10 分休憩～

【研究発表】

16:50～17:40 津上英輔「「引き際の美学」における「美学」の転義用法」